

まちづくり あいかわ

〜歴史的資源を活用した地域活性化の活動報告〜

— 38号 —

発行所 佐渡市相川支所
〒952-1592
佐渡市相川栄町27番地
TEL 0259 (74) 3111 (代)
FAX 0259 (74) 2551

相川車座 施設内覧会&意見交換会Vol.2及び 車座サポーター募集について

2月に相川車座の取り組みについて紹介する機会をいただきました。その中で、今年の夏に地域で運営する分散型ホテルを開業することをお知らせしました。

このたび、分散型ホテルの工事が完了しましたので、開業前の施設内覧会を相川地区の皆様向けに開催したいと思えます。ぜひこの機会にご参加ください。開業するホテルは、地域の空き家となっている古民家に宿泊して楽しんでもらうことがねらいです。ホテル宿泊者に対して、相川を楽しんでもらうべく、もう一度相川を訪れてもらいたい。相川ファンを増やすべく、地域住民や佐渡観光交流機構の案内所、飲食店など、地域全体でもてなしたいと考えております。

そこで、このホテルプロジェクトをはじめ、相川車座の活動と一緒に取り組みたい、お手伝いいただける方を募集します。今回の施設内覧会の後に詳しく説明いたします。参加費は無料です。ご興味のある方、お気軽にご参加ください。

◆日時 4月28日(日) 午後2時から

◆集合 きらりうむ佐渡、現地へ移動して施設内覧会、サポーター募集の説明会・意見交換会 (終了、午後4時予定)
◆お問い合わせ 佐渡市相川支所地域支援係 電話 74・3111

空き家図書館 第2弾の開催について

前回の開催が好評につき、本の蔵書数を増やし、4月15日から21日に開催いたします。前回同様、【保存食屋すがわら】

の出店(20日・21日)もごさいます。なお、20日の出店時間は午前10時〜午後5時までとなりますので、ご注意ください。全世帯にチラシを配布していますので、詳細のイベント内容は、チラシをご確認ください。

佐渡國あいかわあきんど会会長選挙(3月15日〜20日)

ぼんぽこホールを会場に一般の方にも会長選挙に参加していただきました。このような方法で実施した経緯は、地域の皆様から「この会は何をやっている団体なの?」と言ったお声を頂戴しましたので、役員改編にあたり、地域の皆様からも候補者の公約などを知ってもらい、会の運営に係わってもらえることを目的として、選挙で会長を選ぶことにしました。

6日間を通して、多くの方々が票を入れに足を運んで下さり、「こんな公約はないのかね?」「この公約は応援したい」など、様々なご意見・ご感想がありました。

投票された皆様、ご協力ありがとうございました。今後、更にあきんど会の活動主旨を皆様に知ってもらえるよう、会員が一丸となり積極的に活動してまいります。世界文化遺産に登録されるよう、地域の皆様とともに協力し合っていきましょう。なお、会長選挙の結果は、次号でお伝えいたします。

伊藤幹太の地域おこし活動報告(3月)

私は、昨年4月1日に着任したのですが、本当に多くの皆様を支えて下さったお陰で、無事に協力隊1年目を終えることが出来ました。そして、4月からは2年目が始まっています。協力隊の任期は3年間です。常に終わりを意識して、今後とも、相川のために頑張りますので、皆様どうぞよろしくお願ひします。なお、先月開催した、空き家図書館をテレビ新潟さんで取り上げて下さいました。興味がある方は是非下記QRコードを読み取りご覧ください!

お問い合わせ等ございましたら、次のメールアドレスまでご連絡ください。mail:uwkantata0123@gmail.com まで



第24回全国高等学校版画選手権大会の結果



文部科学大臣賞 佐渡中等教育学校
舞のかざしのその隙に

文部科学大臣賞に、佐渡中等教育学校が輝きました。14年ぶりに地元佐渡勢の栄冠です。おめでとうございました。

◆審査総評 小林 敬生 (日本版画協会理事) 審査員長

【舞のかざしのその隙に】は、佐渡に生まれ育った中で改めて再発見した佐渡、龍神伝説と親しんできた能装束で構成した画面は力強い描線と明快な色彩が生き生きと躍動する秀作とされています。陰刻法は一般的には一版多色摺りで、筆で描いたような色面を求める事が多いのですが、この作品は主版こそ陰刻による彫線ですが別に用意した色版との組み合わせが絶妙で、「版」ならではの色層(レイヤー)の明快さが魅力となっています。各チームが【発見!!佐渡】で現代社会が抱える問題に対する高校生の意識の高さが読み取れる作品が多かった大会でした。他の作品すべてが選手たちの思いが伝わる力作で、評価側の視点によつては文部科学大臣賞以下全く異なる選考結果となつたであろうことを申し添えます。

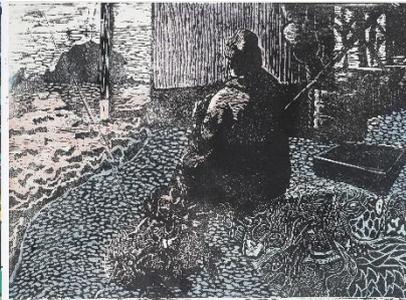
佐渡版画村美術館で展示中!!

中小企業庁長官賞



大阪港南造形高校

新潟県知事賞



神奈川多摩高校

佐渡市長賞



静岡伊豆伊東高校

佐渡版画村賞



埼玉鴻巣高校

【ホンマの佐渡】は、オーソドックスな主版法による多色刷り木版画の作品ですが、初めての佐渡での発見と感動を何のてらいもなくのびやかに彫り上げています。佐渡で出会った諸々を構成していますが、その要素の多さをまとめ上げた構成力があるので、のびやかさが生きています。

【次への出会い】は、何かを語りかけながら漁網を繕う漁師の後ろ姿、さり気なく配されたゴミにまみれた漁網。声高にはなく静かに語りかけてくる問題意識、選手たち3人の思いが伝わって来ます。

【春装のとき】は、トキを中心とした佐渡の遺構で構成したレベルの高い画面構成が目を惹きます。繁殖期を迎えたトキ、陰刻を生かしたその描写が圧巻です。

【瑞鳥丸、佐渡新発見】は、かつて北の海を席卷した北前船の姿を真正面からとらえ、堂々と描き切った潔(いさぎよ)さを評価します。荒波をものともせず進む瑞鳥丸の勇姿が、力強く表現されていますが、木版ならではの平面性が生かされていることでしょう。

【お詫び】 今回は紙面の都合により「あいかわ道草話」をお休みします。一



奨励賞9作品や大会の様子は、左記QRコードを読み取り、大会ホームページでご覧ください。(http://はんが甲子園.jp)